
インフィニットストラトス～いまだに明けぬ満月の聖夜～

クィアラキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

インフィニットストラトス〜いまだに明けぬ満月の聖夜〜

【Nコード】

N1693Z

【作者名】

クイアラキ

【あらすじ】

IS、それは女性のみが動かせるさいきょうの最強の兵器。

それを動かした男性がいるなど、等の昔に忘れられていた。

その時、俺は考えもなかった。

・
・
・
。

まさか俺が、二人目という運命を背負うことになるとは・

プロローグ

夢を見ていた。

とある少女の夢。

この夢は俺の記憶がある12才の時から見続けている。
だが、今のは少し違っていた。

「やつと、会えるね。」

確かにそうだった。

しかし、その言葉の意味は分からない。

俺は逃避するように外を見る。

高速移動する飛行機から、巨大な物体が見えた。

……国立IS学園。

世界で唯一のIS操縦技能訓練学校。日本の東京湾に浮かぶ東京と同じ位の巨大な物体。

2025年、つまり今から25年前のIS戦争時、増え続けるIS需要に対応するために作られ、当時確率した巨大IS技術により海上に浮かせて十分な面積を確保した。

言うなれば、巨大なISの上に建つ学校、それが今のIS

学園の姿。

そして、俺、月影裂夜の受験する学校でもあった。

現在では、起動のみを無人ISに任せ、内部で操縦する巨大IS技術（巨大と言われているのは無人IS搭載と操縦の都合上大型にせざるおえないから。）が発達しており、男性でも擬似的にISを動かせるのだが……。

（……女子多いな……。）

機内はほとんどが女性だった。

IS学園は通常IS操縦学科と巨大IS操縦学科に別れ、通常IS操縦学科は言うまでもなく全員女性で、巨大IS操縦学科も女尊男卑の考えが根付いているため女性優先で合格する。

そのため、定員1000名中男性は50名程度だ。

（……何でだろうな……。）

俺は記憶がある12才の時からある欲求があった。強迫観念といってもいい。

俺はIS学園に入らなければならない。そういった言葉が頭の中を支配していた。

あそこに行ったら分かるのだろうか？

何故俺はIS学園に行きたいのか。

そして、夢の中の少女は一体誰なのか……。

やがて到着のベルになる。

俺はまだ、歴史上一人目という運命を背負うことになる
ことを、まだ知らない・・・。

リフレイン

IS学園アリーナ 10:00

もうすぐ学園見学のデモンストレーションが始まるうとしていた。アリーナ内は見学来た中学生で溢れている。見たところ女子が95%。男子は数えられる位しかない。

・・・正直言うとお大変肩身が狭い。（と、言いつつも特等席を陣取っているのだが。）

このデモンストレーションでは代表候補生の模擬戦闘と新型ISの起動実験が行われる。この起動実験は世界で初めての9世代ISとして世界各国から注目されている。

・・・と、そこで、

『皆様、お待たせいたしました。これよりデモンストレーションを開始いたします。』という放送が流れた。

『・・・以上で、教頭先生のお話を終わります。』

教頭のクソ長い話があったせいで会場がざわざわしていた。

『模擬戦闘の準備があるのでしばらくお待ちください。』

と、そこで

警報が響いた。

「つッ!!」

『警報発令、警報発令、一般生徒、及び見学者はシェルターに避難してください。』

先ほどとは違い、無機質な声が避難を促す。上空を見上げると複数のISが交戦して・・・

「え・・・?」

そこで凄まじい既視感に襲われた。俺の視線は複数のISと交戦している白いISに釘付けになった。

（あの機体を・・・俺は知ってる？）

それは、失った筈の記憶のなかにあった、白騎士という名のISだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1693z/>

インフィニットストラトス～いまだに明けぬ満月の聖夜～

2011年12月27日01時53分発行